

無念の途中中断

8月11日、第23回カヌー長島海峡横断大会が開催され、熊本県天草市の牛深港と蔵之元港間の長島海峡8_{キロ}にカヌーで挑みました。

この大会には、小・中学生など52人が参加する予定で10日間の練習を積んできましたが、当日は南風が吹く微妙なコンディションとなり、体力のある中学生や高校生、指導者の計26人だけの出艇となりました。

蔵之元港で開会式が行われた後、選手たちはフェリーで牛深港へ渡り、中学生以上がカヌーに乗り込んで、花火の合図とともに隊列を整えて出発しました。

あいにくの天候でカヌーに乗ることができなかった小学

生たちは、ゴールを目指す先輩たちに一生懸命声援を送りました。

出艇した選手たちは、南からの風に流されないように、指江・城川内方面へ向かって前進していきましました。順調に蔵之元港を目指しているかのようにでしたが、中間点付近にさしかかると高波が押し寄せようになり、これ以上の航行は困難であると判断。今大会は、残念ながら途中中断となりました。

今回が2回目の参加だった長島中1年の門元光生君（蔵之元）は「波が高く前回よりきつかった。最後まで漕いでゴールしたかった」と悔しそ

風軍が並ぶ長島を目指す選手たち

元気に牛深港を出港する選手たち